

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 1

通告 月日	5・26	通告者名	早川 喬 俊
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発言 の 要 旨	<p>1 市街化調整区域における違法建築について</p> <p>市街化調整区域は、無秩序な市街化を防止するため、市街化を抑制すべき区域として区分された区域で、建築物の新築、改築、用途変更、及び特定工作物の新設が制限されており、建築物等の建築の際には、許可不要とされている建築行為を除き、都市計画法の許可（開発許可または建築許可）がなければ建築行為を行うことはできません。許可に際しては、都市計画法に基づき定められた許可基準（立地基準）を満たしている必要があり、許可不要の行為を除き、許可を得ずに開発行為や建築行為を行った場合は、都市計画法違反となり、指導の対象となります。そこでお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 違法建築の状況とその対応について (2) 駒場調整池周辺の現在の違法建築の状況について (3) 駒場調整池周辺のこれまでの経緯と市の取り組みについて (4) 違法建築における責任について 		
	<p>2 公営住宅のあり方について</p> <p>住宅は子供を育て家族が憩い老後を過ごすなど幸せを育み明日への活力を養う生活のメインステージであり、豊かな住生活は社会の安定をもたらすものであり、住宅ひいては住生活の向上は今日においても重要な課題である。そこでお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市営住宅の現状について (2) 市営住宅の耐震診断と改修について (3) 今後の市営住宅の方針、考え方について (4) 本市の公営住宅の今後の方針、考え方について 		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順）2

通告 月日	5・26	通告者名	星川博文
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発言の 要旨	<p>1 八幡駅周辺地区のまちづくりについて</p> <p>(1) 八幡駅周辺のまちづくりの考え方について</p> <p>(2) 日立製作所豊川事業所跡地について</p> <p>(3) スズキ豊川工場跡地について</p> <p>(4) 用途地域変更に向けての状況について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順）3

通告 月日	5・26	通告者名	中村浩之
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発言 の 要 旨	<p>1 豊川の洪水対策について</p> <p>戦後、日本の川で破堤していない川はないと言われるほど、我が国は多くの水害に見舞われてきました。また、近年の地球温暖化や気候変動により、雨の降り方も変化してきました。今まで大降りがなかった地域でも一気に大量の雨が降るなど、ゲリラ豪雨化の傾向にあり、平成26年の広島市の土砂災害、平成27年の茨城県常総市で起きた鬼怒川の決壊は記憶に新しいところです。</p> <p>本市の東部には一級河川の豊川が流れ、その川沿いの地域住民は、日々の災害意識として、宇連ダム、大島ダム、そして、建設中の設楽ダムの貯水量が満水時、かつ、海水が満潮時に大規模地震又は台風が発生し、何れかのダムが決壊した場合の災害を想定しています。</p> <p>これから雨季に入り、その後の台風シーズンを迎えるにあたり、住民が安心して日常生活を送り、また、営農していくために豊川の改修促進は、本市の当面する緊急課題であると考えます。そこで、豊川の洪水対策について、順に伺います。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 豊川水防災サミットについて (2) 豊川の改修の現状について (3) 霞堤対策について (4) 内水排除について 		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 4

通 告 月 日	5・26	通 告 者 名	井 川 郁 恵
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 がん検診について</p> <p>(1) 部位別、男女別がんの死亡状況及び罹患状況について</p> <p>(2) がん患者の生存率について</p> <p>(3) 本市のがん検診について</p> <p>(4) がん検診の受けやすい体制について</p> <p>(5) がんの予防について</p> <p>(6) がん教育について</p> <p>2 いじめ・不登校について</p> <p>(1) いじめの対策の現状と今後について</p> <p>(2) 不登校対策の現状と今後について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 5

通 告 月 日	5・26	通 告 者 名	平 松 八 郎
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 空家対策について</p> <p>(1) 本市の現状について</p> <p>① 空家対策の実施体制について</p> <p>② 空家の実態調査について</p> <p>③ 相談窓口に寄せられた事案について</p> <p>(2) 空家の対策計画について</p> <p>① 基本理念・取り組み方針について</p> <p>② シルバー人材センターとの協定について</p> <p>③ 特定空家について</p> <p>④ 空家バンクについて</p> <p>⑤ 近隣市の取り組みについて</p> <p>(3) 国・県の支援について</p> <p>(4) 空家対策を進めていく上での課題、留意点について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 6

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	堀 部 賢 一
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 鉄道駅（西小坂井駅）を中心としたまちづくりについて</p> <p>昨年度改訂された「豊川市都市計画マスタープラン」ならびに「立地適正化計画」では鉄道駅を中心としたコンパクトシティを目指すとして、今後のまちづくりの方向性が示され、居住誘導に向けた新たな制度も開始されている。</p> <p>その中で、小坂井地区も地域拠点の一つであるとともに、JR西小坂井駅も地域拠点機能の集積を目指すこととして、まちづくりの方針図が示されているところである。</p> <p>西小坂井駅地域では、「西校区青少年健全育成協議会」の従来からの活動を更に進め、平成27年には「西小坂井駅東西連絡橋建設促進協議会」が立ち上げられ、地域の交通安全と駅周辺の利便性を高めるための地域活動が芽吹いてきているが、一方で、豊川市内の複数のJR駅が無人化される方向であり、西小坂井駅もその一つであるとのプレスリリースがJR側からされている。</p> <p>そこで、今回、安心や安全という面からも地域の課題を整理しつつ、今後を見すえたJR西小坂井駅周辺のまちづくりの進め方と、地域住民によるまちづくり活動について、市の認識と対応を伺う。</p> <p>(1) 西小坂井駅周辺における地域課題とその対応状況について (2) 地域のまちづくり活動に対する、市の認識と対応について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 7

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	倉 橋 英 樹
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 空き家及び所有者不明財産について</p> <p>(1) 空き家対策について</p> <p>(2) 所有者不明財産について</p> <p>2 人口減少社会における下水道事業について</p> <p>(1) 現在の経営状況と将来リスクについて</p> <p>(2) 下水道事業の経営効率性について</p> <p>(3) 今後の対策について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 8

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	小 林 琢 生
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 一宮大木土地区画整理事業について</p> <p>一宮大木土地区画整理事業は、平成16年に旧一宮町において組合の成立、事業認可を取得したが、豊川市との合併後、資金計画、排水計画など事業の再検討を行い再スタートしました。その後、多くの課題を乗り越え、事業の完了が目前となり、新しい街が見えてきました。</p> <p>そこで、一宮大木土地区画整理事業の状況と今後について伺う。</p> <p>(1) 一宮大木土地区画整理事業の状況について</p> <p>(2) 国道151号一宮バイパスの状況について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順）9

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	八 木 月 子
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 「豊川市男女共同参画基本計画」の改訂について</p> <p>(1) 豊川市のこれまでの取り組みについて</p> <p>(2) 基本目標について</p> <p>(3) 市民への啓発について</p> <p>(4) 教育現場での取り組みについて</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順）10

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	石 原 政 明
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 本市の市有財産の活用とファシリティマネジメントによるまちづくりについて</p> <p>本市の行財政運営の健全化にもとづく施策として、少子高齢化・人口減少社会環境への取り組みは大変重要な課題の一つであります。そのような中、特にハード事業としての市有財産についてお聞きします。</p> <p>(1) 行政経営改革における市有財産活用の位置づけについて (2) 市有財産の概要について (3) ファシリティマネジメントに関する取り組みについて</p> <p>2 副市長2人体制による市政運営について</p> <p>本年度より副市長2人体制により、新副市長として田中義章氏が就任されました。地方行政のかじとりは一瞬たりとも手を抜くことはできない大変な業務であることは認識するところですが、竹本副市長と共に二人三脚で取り組まれる市政運営において市民の期待にどのように応えて行くのか、田中副市長に伺います。</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 11

通告 月日	5・30	通告者名	富田 潤
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発言 の 要 旨	<p>1 保育の取り組みについて</p> <p>豊川市は「子育てするなら豊川市」と目標を掲げ、妊娠期から切れ目のない支援を行うとしています。働きながら子育てをしていくために保育は重要です。</p> <p>現在子育て中の方に、もう一人、二人子どもがほしいと思ってもらえるような対応をして行かなければならないと考えます。そのための保育の課題について伺います。</p> <p>(1) 保育園の入所状況について (2) 兄弟姉妹が別々の保育園に通う現状について (3) 兄弟姉妹が同じ園に通うことができるようにするための取り組みについて</p>		

通告 月日	5・30	通告者名	安間寛子
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 高齢者に優しいまちづくりについて</p> <p>現在、65歳以上の高齢者は3,000万人。老人福祉法には、高齢者を「多年にわたり、社会の進展に寄与してきた者」「豊富な知識と経験を有する者」として「敬愛されるとともに、生きがいをもてる健全な安らかな生活を保障される」と明記しています。豊川市の高齢者の方々が、安心して暮らせるまちづくりは、私たち政治の責任であり、喫緊の課題です。</p> <p>以下、高齢者が安心して暮らせるまちづくりのために必要な施策について、伺います。</p> <p>(1) 「シルバー優待カード（敬老パス）」の創設について 豊橋市は、70歳以上の高齢者に「シルバー優待カード」を交付し、このカードの保持者は、市内の動物園・美術館など8施設、名古屋市内の2施設の利用が無料になるなど優待されます。また、電車バス回数券やタクシー乗車券・元気パスなどでも優待されます。日本共産党豊川市議団が行った市民アンケートには、回答者から「豊川市でもシルバー優待カードを実施してほしい」という声が多数寄せられました。本市の考えを伺います。</p> <p>(2) 自動車免許返上後の対策について 先日、ある高齢者の方から「免許の更新を行った際、自動車学校の先生から『免許返上という選択肢もありますが、返上後の交通手段があるかどうかを考えてください』と言われた。私は返上も検討したが、豊川市では高齢者の交通手段（バス・タクシー）への保障がない。これでは高齢者の免許返上は進まないのではないか」という声が寄せられました。</p> <p>例えば、東京都や名古屋市では「敬老パス」を交付し、市バスや地下鉄を無料で乗車できる制度があり、埼玉県所沢市では、運転免許証を自主返納した方には「バス無料乗車定期券または回数券」を交付しています。また蒲郡市ではタクシー割引チケット交付の取り組みが、高齢者に喜ばれています。本市にも、このような、免許返上者に対する交通手段の保障施策が必要だと考えるが、いかがでしょうか。</p>		

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	安 間 寛 子
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>2 「子どもの貧困」など、本市の子どもたちの置かれている状況について</p> <p>「子どもの貧困」は、現在、政府の調査で6人に1人と言われています。貧困は、教育の機会均等を奪うことなどから、政府は、貧困の世代間連鎖を断ち切るため、さまざまな対策を検討しています。また貧困対策は、児童虐待の防止策と一体として取り組まれています。他方、子どもがおかれている状況については、不登校・引きこもりも注目されています。</p> <p>そこで、以下、本市の状況を伺います。</p> <p>(1) 「子どもの貧困調査」について (2) 本市の相対的貧困の世帯数について（国県との比較） (3) 本市の小・中学校で、就学援助を受けている生徒数等について (4) 本市が把握している児童虐待の件数 (5) 本市の小・中学校の不登校・引きこもりの数について（国県との比較） (6) 本市の「子どもの貧困」（虐待も含む）対策について (7) 本市の不登校・引きこもりの状況に対する認識と対策について (8) 「子どもの貧困」対策のためにも、「学校給食費の無料化」、「18歳までの医療費の無料化」、「本市独自の給付型奨学金制度」の3点の実施が効果的と考えます。これらを実施する場合の予算額と、市長のお考えを伺います。</p>		
	<p>3 国民健康保険制度の県単位化について</p> <p>2018年度から、国民健康保険制度の都道府県単位化が行われることになっています。現在、本市でも国保料が高く、滞納で保険証が発行されないことで、市民が医療を受けられない状況などがあります。このような状況が、今後県単位化となることでどうなるのか、大変危惧をするものです。そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 直近の本市の国保の現状について 加入世帯数・総数・加入率、一人当たりの年間所得額、一人当たりの医療費の状況を伺う。また、本市の収納率と、資格証明書、短期保険証発行の状況、保険証の「留め置き」「未発行」の状況についても伺います。</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 12-③

通告 月日	5・30	通告者名	安間寛子
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式
発言の要旨	<p>(2) 2018年4月からの国民健康保険県単位化での、豊川市の保険料について 国保事業納付金額の決定後、保険料が算定されるがその金額、徴収の見通しを伺います。</p> <p>(3) 保険料を引き下げ、誰もが保険証で医療を受けることを保障することについて 一般会計からの「その他繰入」を増やすこと、国庫補助（3,400億円）の使途、国に対して国保制度への予算を増やすことを求めるお考えを伺います。</p> <p>4 国連の「核兵器禁止条約」締結をめざし、平和首長会議の呼びかけに応えた市長の活動について</p> <p>2017年3月27日から31日まで、「核兵器禁止条約を交渉する国連会議」第1会期が開かれ、第2期が6月17日から7月7日まで、今まさに開かれようとしています。</p> <p>それに向けて、本市も加盟している「平和首長会議」が、2017年3月14日付けで、「平和首長会議による公開書簡」（以下「公開書簡」）を发出了しました。</p> <p>本市は、核兵器の廃絶を謳った「豊川市平和都市宣言」を持ち、現在、山脇市政のもとで、豊川海軍工廠の悲劇を風化させず二度と戦争を繰り返さない、後世に平和の願いをつなげるために、「平和公園（仮称）」の整備を行っています。そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 今年、山脇市長が、この「公開書簡」、「第6回平和首長会議国内加盟都市会議総括文書（2016年11月8日）」に賛同し、核兵器禁止条約を求める「ヒバクシャ署名」に署名することが、重要であると考えますが、市長のお考えを伺います。また、市のホームページで平和首長会議の活動紹介、「公開書簡」等を掲載することについても、市のお考えを伺います。</p>		

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	佐 藤 郁 恵
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 4文化会館等の廃止、新文化会館建設の市方針と市民の意見の反映について</p> <p>(1) 日立製作所の事業用地取得価格が36億1,720万円で基本合意したと3月末発表された。この経緯と価格の根拠について、また日立製作所は県企業用地をいくらで購入したか。</p> <p>(2) 同取得予定地約7.45haを4区画に分け土地利用計画案を示しているが、それぞれ何haで、利用内容をどのように考えているか。駐車場台数、文化会館ホール数、座席数、規模など</p> <p>(3) 劇場法、文化芸術に関する基本方針などもふまえた公共文化施設の役割についての本市の認識について</p> <p>(4) 4文化会館の利用実態状況の特徴について</p> <p>(5) 新たに大型文化会館を建設するより、建設は必要最小限のホール等にとどめ、音羽・御津などの現施設を使った方が維持管理費も安くすみ、住民の満足度も高くなる可能性があると思うが、どう考えるか。</p> <p>(6) 今後情報を公開し、選択肢を示し、市民の意見を反映させる考えは。</p>		
	<p>2 道徳の教科化と教育勅語使用容認の閣議決定の問題点と対応について</p> <p>(1) 「教育勅語も教材として使える」という安倍政権の国会答弁、閣議決定の内容について</p> <p>(2) 教育勅語排除・失効の国会決議の内容と本市の認識について</p> <p>(3) 道徳教科書採択にむけてのスケジュール、教科書展示の方法、周知について</p> <p>(4) 道徳の教科化による授業内容の変化と評価について</p>		
	<p>3 本市の児童館事業の考え方と先進的な御津児童館事業存続の考え方について</p> <p>(1) 児童館の役割と小学校区に1館は必要という児童館事業発足時の市方針の認識について</p> <p>(2) 児童館のある小学校区の校区外の子どもは基本歩いて通えないという認識について</p> <p>(3) 先進的な御津地区の3館配置は、耐震改修等で建物は維持しつつ、他地域についても必要度の高い地域について、小学校区に1館を検討していく考え方について</p>		

平成29年豊川市議会第2回定例会一般質問一覧表（通告順） 14

通 告 月 日	5・30	通 告 者 名	浦 野 隼 次
		質 問 の 種 別	一般質問
		質 問 の 方 式	一問一答方式
発 言 の 要 旨	<p>1 豊川市土地開発公社による土地の取得について</p> <p>(1) 平成29年度豊川市土地開発公社の事業計画について</p> <p>(2) 平成28年度豊川市土地開発公社の決算の状況について</p> <p>(3) 今後の豊川市土地開発公社の土地取得予定について</p> <p>(4) 豊川市土地開発公社で土地取得をするメリット及びデメリットについて</p> <p>(5) 今後の豊川市土地開発公社のあり方について</p>		